

## 学会の動き

# 平成 25 年度日本難病看護学会総会 議事録

日時： 平成 25 年 8 月 25 日（日）12 時 30 分～13 時 00 分

会場： 東邦大学

### 1. 平成 23 年度事業報告

下記の事業内容について報告された。

#### 1) 第 17 回日本難病看護学会学術集会開催

会 長： 小倉 朗子（東京都医学総合研究所）

メインテーマ： 「療養の安全・安心をまもる看護」

会 場： セシオン杉並（東京都杉並区）

会 期： 平成 24 年 8 月 31 日（金）～9 月 1 日（土）

参 加 者： 450 人

#### 2) 学会誌発行

17 巻 1 号 平成 24 年 7 月発行 92 頁

（第 17 回日本難病看護学会学術集会プログラム・抄録集）

17 巻 2 号 平成 24 年 12 月発行 94 頁

17 巻 3 号 平成 25 年 3 月発行 70 頁

#### 3) 理事会開催（合計 3 回）

平成 24 年 7 月 30 日：

学会総会について

第 17 回学術集会について

第 18 回学術集会について

平成 24 年 8 月 30 日：

総会報告事項に関する検討

平成 25 年 1 月 30 日：

第 17 回学術集会報告

第 18 回学術集会について

学会企画セミナーについて

#### 4) 学術関連の活動等

##### (1) 日本看護系学会連絡協議会：

日本学術会議および国内の学術組織との交流・相互協力。

社会に貢献できる看護学研究の推進。

##### (2) 看護系学会等社会保険連合：

看護技術検討委員会。

診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会。

#### 5) 日本難病看護学会として得た研究助成金による研究活動

文部科学省科学研究費補助金 研究成果公開促進費「研究成果公开发表（B）」

交付金額：690 千円

「療養の安全・安心をまもる看護」

平成 15 年度より継続して採択されています。

6) セミナー等による研究成果の普及交流活動

(1) 第17回日本難病看護学会学術集会におけるセミナー等

- ・公開シンポジウム「地域で安心して暮らすために～東日本大震災から学んだこと～」
- ・公開リレートーク「在宅医療・難病看護のこれから」
- ・教育セミナー「看護のための神経難病寺子屋」
- ・公開セミナー
- ・小学生向け特別企画「みんなのからだ“つたえるしくみ”をしよう」

(2) 第17回日本難病看護学会学術集会プレセミナー

- ・「神経難病療養者の療養経過から学ぶ～ALS療養経過と終末期ケアを考える～」

(3) 日本難病看護学会 企画セミナー

- ・「箱根で学ぶ神経難病看護」シリーズ

知の普及 神経難病テキストの実践

(難治性疾患克服研究事業希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究班)・独立行政法人国立病院機構箱根病院との共同開催)

第1回 平成24年11月23日(金)・箱根病院

家族を元気にする看護援助

排泄障害の基礎

神経筋疾患における呼吸障害

第2回 平成25年2月9日(土)・鈴廣会館

パーキンソン病を持つ人への支援

コミュニケーション支援講座

2. 平成24年度会計報告(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

収入の部

科目	予算	決算	(決算-予算)
① 会費 <sup>1)</sup>	3,600,000	3,681,000	81,000
② 報告集・学会誌売上 <sup>2)</sup>	100,000	97,447	△2,553
③ 寄付 <sup>3)</sup>	0	19,000	19,000
④ 雑収入 <sup>4)</sup>	1,000	6,000	5,000
⑤ セミナー <sup>5)</sup>	50,000	271,600	221,600
⑥ 前年度繰越金	7,216,091	7,216,091	0
収入合計	10,967,091	11,291,138	324,047

1)内訳：409人(H25年度分前受27人、H24年度分370人、H23年度分14人)

2)内訳：学会誌62部

3)内訳：寄付金19,000円(内訳 役員計1,000円、学会員計18,000円)

4)内訳：文献許諾使用料6,000円

5)収入：計271,600円

(内訳 ・8月30日企画セミナー

参加費非会員59,000円、参加費会員13,500円

・11月23日企画セミナー

参加費非会員48,000円、参加費会員3,000円、参加費関係者9,600円

・2月9日企画セミナー

参加費非会員102,500円、参加費会員24,000円、参加費関係者12,000円)

## 支出の部

科目	予算	決算	(決算-予算)
① 学会誌発行費 <sup>1)</sup>	860,000	633,945	△226,055
② 学術集会補助金	1,000,000	1,000,000	0
③ 学術団体活動分担金等 <sup>2)</sup>	138,000	118,000	△20,000
④ 会員管理費等 <sup>3)</sup>	552,640	551,950	△690
⑤ 人件費 <sup>4)</sup>	502,400	502,100	△300
⑥ 送料・手数料	400,000	399,065	△935
⑦ 会議費 <sup>5)</sup>	250,000	47,100	△202,900
⑧ 事務費	400,000	369,311	△30,689
⑨ 雑費	50,000	0	△50,000
⑩ セミナー等費 <sup>6)</sup>	300,000	363,978	63,978
⑪ 選挙管理費	0	0	0
⑫ 予備費	7,014,051	0	△7,014,051
支出合計	11,467,091	3,985,449	△7,481,642

1)内訳：17 (1) (2) (3) 各 650 部

2)内訳：日本看護系学会連絡協議会会費 80,000 円、看護系学会等社会保険連合会費 30,000 円、  
日本学術協力財団「学術の動向」購読代金 8,000 円

3)会員管理にかかるPC、ソフト等費用および作業人件費 8,300 円×66.5 人日

4)会誌編集等および学会事務、ホームページ維持管理に関する人件費 8,300 円×57 人日、1,000 円×  
29 時間

5)内訳：遠方理事旅費

6)支出：計 363,978 円

(内訳 ・8 月 30 日企画セミナー

講師謝金 45,240 円、講師旅費 6,000 円、物品代 10,453 円、教材費 4,200 円、  
役務費 2,520 円

・11 月 23 日企画セミナー

講師謝金 30,160 円、講師旅費 2,000 円、昼食代 38,715 円、通信運搬費 3,710  
円、役務費 735 円

・2 月 9 日企画セミナー

講師旅費 99,835 円、賃金 16,600 円、昼食代 100,000 円、通信運搬費 240 円、  
役務費 3,570 円)

### 3. 平成 24 年度会計監査報告

上記のとおり会計報告があり、川村佐和子監事、村田加奈子氏（牛込三和子監事代理）から会  
計報告に相違なく、帳簿類も正確に記載されていたという会計監査報告があり、承認された。

### 4. 平成 25 年度事業計画

下記の事業計画が報告され、承認された。

#### 1) 第 18 回日本難病看護学会学術集会

会 長： 村岡 宏子（東邦大学）

メインテーマ： 「難病看護のスペシャリティーへの挑戦」

会 場： 東邦大学（東京都大田区）

会 期： 平成 25 年 8 月 24 日（土）～8 月 25 日（日）

#### 2) 学会誌発行（18 巻 1 号発行済、2～3 号発行予定）

18 巻 1 号 平成 25 年 7 月発行

18 巻 2 号 平成 25 年 12 月発行予定

18 巻 3 号 平成 26 年 3 月発行予定

### 3) 学術関連の活動等

#### (1) 日本看護系学会連絡協議会：

日本学術会議および国内の学術組織との交流・相互協力。  
社会に貢献できる看護学研究の推進。

#### (2) 看護系学会等社会保険連合：

看護技術検討委員会。  
診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会。

### 4) 研究助成金による研究活動

#### (1) 平成 25 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公开发表（B））

交付金額：800 千円

「難病看護のスペシャリティーへの挑戦」

#### (2) 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患克服研究事業「希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究」への協力

知の普及 神経難病テキストの実践（学会企画セミナー）

学会認定による専門看護教育

### 5) セミナー等による研究成果の普及交流活動

#### (1) 日本難病看護学会 企画セミナー

・「箱根で学ぶ神経難病看護」シリーズ

知の普及 神経難病テキストの実践

（難治性疾患克服研究事業希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究班）・独立行政法人国立病院機構箱根病院との共同開催）

第 3 回 平成 25 年 5 月 11 日（土）・鈴廣会館

多系統萎縮症

神経難病の口腔ケア最前線

第 4 回 平成 25 年 11 月 2 日（土）・鈴廣会館

看護のための神経解剖・生理・病理

看護に役立つ神経系フィジカルアセスメント

第 5 回 平成 26 年 1 月頃予定

### 5. 理事・監事選挙開票結果報告

平成 25 年 6 月初旬 投票用紙送付

平成 25 年 6 月 28 日（金） 投票を締め切り（消印有効）

平成 25 年 7 月 1 日（月） 開票（選挙管理委員 2 名で実施）

投票数 116（投票率 26.2%）：白票 4、有効投票数 112

投票結果にもとづき候補者に意思を確認、以下の役員が選出された。

理事	秋山智	飯田苗恵
	牛久保美津子	小倉朗子
	小長谷百絵	小西かおる
	佐々木栄子	中山優季
	藤田美江	本田彰子
	村岡宏子	
監事	川村佐和子	菅原京子（50 音順）

## 6. 理事の推薦

日本難病看護学会規約第7条にもとづき下記のとおり理事を推薦した旨報告があり、承認された。  
 柘中智恵子氏（熊本大学大学院）  
 原口道子氏（東京都医学総合研究所）

## 7. 日本難病看護学会認定「難病看護師」制度

日本難病看護学会認定「難病看護師」制度の創設について、目的、役割、制度の概要等について説明があり、承認された。

## 8. 平成25年度予算案（自平成25年4月1日至平成26年3月31日）

下記のとおり予算案が報告され、承認された

### 収入の部

科目	平成24年度予算	平成24年度決算	平成25年度予算
① 会費 <sup>1)</sup>	3,600,000	3,681,000	3,600,000
② 報告集・学会誌売上	100,000	97,447	100,000
③ 寄付	0	19,000	0
④ 雑収入	1,000	6,000	1,000
⑤ セミナー	50,000	271,600	300,000
⑥ 前年度繰越金	7,216,091	7,216,091	7,305,689
収入合計	10,967,091	11,291,138	11,306,689

1)内訳：9,000円×400人

### 支出の部

科目	平成24年度予算	平成24年度決算	平成25年度予算
① 学会誌関連費（研究会誌等PDF化作業費等） <sup>1)</sup>	860,000	633,945	1,000,000
② 学術集会補助金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
③ 学術団体活動分担金等 <sup>2)</sup>	138,000	118,000	138,000
④ 会員管理費等 <sup>3)</sup>	552,640	551,950	581,000
⑤ 人件費 <sup>4)</sup>	502,400	502,100	539,500
⑥ 送料・手数料	400,000	399,065	400,000
⑦ 会議費	250,000	47,100	250,000
⑧ 事務費	400,000	369,311	400,000
⑨ 雑費	50,000	0	50,000
⑩ セミナー等費	300,000	363,978	600,000
⑪ 選挙管理費	0	0	130,000
⑫ 難病看護師認定制度運営委員会活動費 <sup>5)</sup>	0	0	302,750
⑬ 広報活動費（ホームページ） <sup>6)</sup>	0	0	245,000
⑭ 予備費	7,014,051	0	5,670,439
支出合計	11,467,091	3,985,449	11,306,689

1)内訳：18(1)(2)(3)各650部発行予定、研究会誌等PDF化作業費

2)内訳：日本看護系学会連絡協議会会費80,000円

看護系学会等社会保険連合会費50,000円

日本学術協力財団「学術の動向」購読代金8,000円

3)会員管理にかかるPC、ソフト等費用および作業人件費8,300円×70人日

4)学会誌編集等および学会事務、ホームページ維持管理に関する人件費8,300円×65人日

5)認定看護師委員会開催謝金・事務費

6)ホームページリニューアル費210,000円、サーバー管理費5,000×7ヶ月(9月～3月)

9. 第 19 回日本難病看護学会学術集会 会長挨拶

秋山智氏（広島国際大学）より、第 19 回日本難病看護学会学術集会が下記の日程にて開催される予定であることが説明され、挨拶が行われた。

第 19 回日本難病看護学会学術集会

会 長： 秋山智（広島国際大学）

会 期： 平成 26 年 8 月 29 日（金）～30 日（土）

開 催 地： 広島国際大学呉キャンパス（広島県呉市広古新開 5-1-1）

会長講演、特別講演、シンポジウム、一般演題

以上